

■■メールマガジン「静岡県防災」第44号■■

～令和6年能登半島地震～

新年を迎え、多くの方が家族団らんで過ごしていた1月1日の夕方に発生した能登半島地震。自然災害は、人々の生活などおかまいなしにいつでも発生するのだと痛感しました。

また、輪島に住む知人にメールで連絡してみたところ、

「無事な家などはありません。家族はみんな無事ですが避難所にいます。どうしていいかわからないです。」

との返事があり、言葉がありませんでした。

死者はすべて石川県内で発生しており、中でも大規模な被害は能登半島の輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、七尾市等の奥能登地域に集中しています。

今回の地震では、住まいの「耐震化」の重要性を再認識させられます。

また、住まいの被害がなくても、地域が被災すれば生活必需品が入手しにくくなるため、「備蓄」も重要です。

この機会に、家庭内の防災対策を再点検しましょう。

現在、静岡県では石川県穴水町を中心に能登半島各市町で支援活動を行っています。

派遣された職員によると、現時点では能登半島にアクセスできる道路が1本しかないため、支援に向かう車両で慢性的な渋滞が発生しているとのこと。

このため、しばらくの間は、現地でのボランティア活動などをご遠慮いただき、義援金による支援など、静岡県内からできる支援をお願いします。

●石川県 HP

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/>

●義援金の案内HP

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shakai/fukushi/1046849/1059542.html>